

すぎのこ



協賛連携型認定こども園
尚綱大学附属こども園

「ウルトラマン」になりたい！

今週は保育参観がありました。年少さんはおうちの方と七夕の飾りつけ作りを頑張りました。



ルトラマンになること」でした。半世紀以上たつて私と同じ夢を持っている園児がいることがとても嬉しく、親近感を持ちました。

願い事も飾りつけました。いろいろな願い事があつて、翌日年長さんがデッキを通りながら興味津々ながめていました。私も楽しんで見ていたのですがその中の一つが目にとまりました。

その願い事は「ウルトラマンに変身したい」というものです。



じつは私の年長のころの夢は「ウルトラマンになること」でした。半

私が年長のころウルトラマンがテレビで始まりました。レッドキングが迫ってきているのに、ハヤタ隊員が変身するためのベータカプセルが岩に挟まって取れない場面では手に汗を握りながら応援し、ゼットンに倒された場面では、信じられずに放心状態だったことは昨日のことのように覚えています。いか私もウルトラマンになりたいと思っていました。ですが無理でした。小学校の高学年になると、長嶋

や王がヒーローでした。クラスではライトで九番でし

たが将来はプロ野球選手になりたいと思いました。しかしいつしかその夢も薄れ、その後は特になりたい目標もありませんでした。

私は思春期、特に夢はな

く毎日楽しく過ごすことばかり考えていたように思います。よく「夢を持つ」と言われますが、高校生になり進路先を選ぶときになり、特に目標もない私は、教員だった父親の勧めで(反発しながらも)教員になる道に進むことになりました。結果として子どもを教える楽しさ・やりがい気が付き充実した毎日過ごすことができました。ひいてはこのように純粋な園児と過ごす幸せを味わっている今、親の勧めに従って進んだ道は間違っていないと感じました。とても良かった、正解だったと思います。親にも感謝しています。

「キャリア教育」という言葉を聞かれたことがあるのではないかと思います。「職業を選択するための教育」と思われがちですが、もっと広義にとらえ、「子どもの自分づくり、人生づくりのサポート」といえる教育です。「ウルトラマンに変身したい」と思っていることも、大

なり小なり夢見ることはその子にとって自分づくりの一步につながる大切な要素です。

ある関連書(「七つの力」を育てるキャリア教育 諸富祥彦著 図書文化)には「キャリア教育で大切に育みたい七つの力」があげられています。①出会いに生き方を学ぶ力②夢見る力③自由な人生を夢見る心地よい体験を重ねていくこと

③自分を見つめ、選択する力④コミュニケーション能力(人とのかかわる力)⑤達成する力⑥七転び八起き⑦強い自己肯定感を支える力⑧社会や人に貢献することに喜びを感じる力

この七つの力を育むには、発達段階によって、力を注ぐ時期が違います。例えば①は小さいころから少しずつできそうですが③は中学以降が中心になってくるでしょう。(私はこの力がありませんでした。教員になったことは後悔していま

せんが心のどこかに自分が選択し自分の意思で決めなかったことをどこか寂しく思う自分もいます。)

④以降は(①③の素地も含めて、園での遊びの中で特につけていきたい力だと思います。ウルトラマンや仮面ライダー、プリキュアになりたい園児がこれくらたくさんの夢を見て、色々なことや人に憧れながら自己実現していつてほしいと願います。

余談ですが、私はプロ野球選手にはなれませんでした。部活動でソフトボールや野球を教えることができ、違った形ですが、小学生のころの憧れが実現できたなあと思います。

お知らせ

水遊びの際、着替えの様子が外から見えないように仕切りや目隠しを設けました。プールでは、上がつて遊戯室南側のデッキや遊戯室につながる渡り廊下に目隠しを作



りそこで着替えるようにしました。またホームページ等でお知らせします。